地域防災対策支援研究プロジェクト
課題①「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」

Web データベースシステム
リストア手順書

平成 30 年 3 月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

1. 概要

本書は、統合化地域防災実践支援 Web サービス（以降、「本システム」とする）のリストア手順を記すものです。

2. 動作環境

本システムの動作には以下のソフトウェア環境とそれが動作する十分なハードウェアスペックが必要になります。

項目	詳細
OS	CentOS 6.7 以降
Web サーバー	Apache 2.2 以降
データベース	MySQL 5.6 以降
PHP	PHP 5.3 以降
メール送信サーバー	Postfix が利用可能なこと
その他	ImageMagick が利用可能なこと

また、本システムの動作には以下と同等の設定が必要となります。

項目	対象ファイル	設定値
PHP	/ect/php.ini	date.timezone = Asia/Tokyo
		short_open_tag = On
		memory_limit = 2048M
MySQL	/etc/my.cnf	default_character_set=utf8
		character-set-server=utf8
		innodb_file_format = Barracuda
		group_concat_max_len = 10485760
		max_allowed_packet = 32M

3. システム再構築手順

3.1. データベースのリストア

・ユーザーの作成

```
> CREATE USER allbosaiweb@localhost IDENTIFIED BY 'allbosaiweb';
```

・DB スキーマの作成

```
> CREATE DATABASE allbosaiweb;
```

・アクセス権限の設定

```
> GRANT ALL PRIVILEGES ON allbosaiweb.* TO allbosaiweb@localhost;
```

・データリストア

```
$ mysql –u allbosaiweb –p allbosaiweb < allbosaiweb_db.dump;
```

3.2. ソースコード配置

ソースコードファイル（source.zip）を展開し「html」ディレクトリを Apache が参照可能なディレクトリに配置してください。

3.3. 初期設定

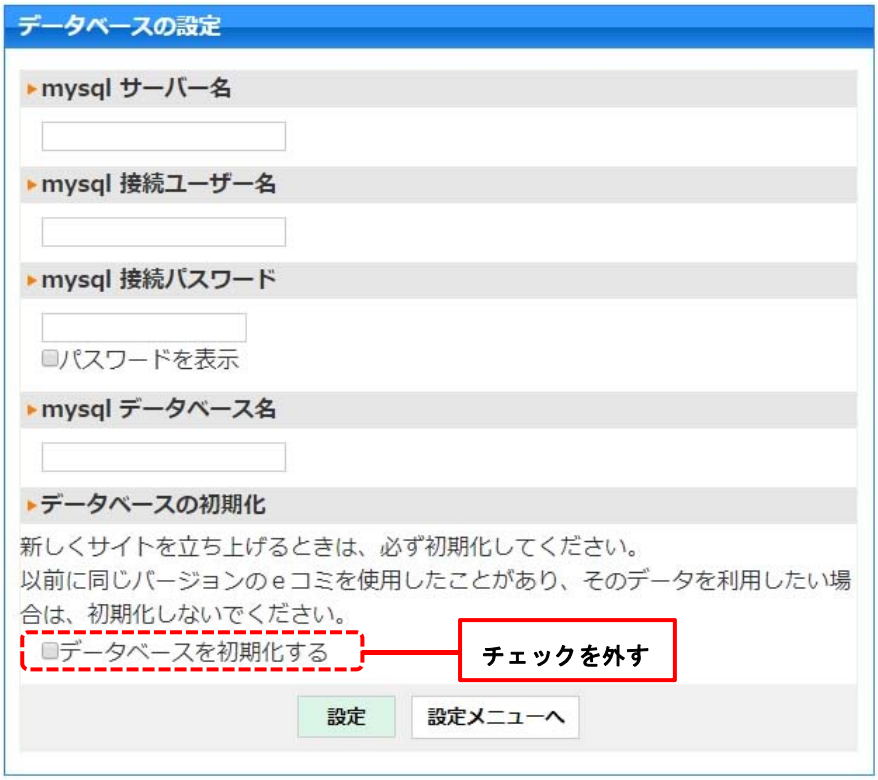
ソースコード配置後、以下の URL にアクセスすることで初期設定画面が表示されます。

```
http://server.domain.com/allbosaiweb/
```

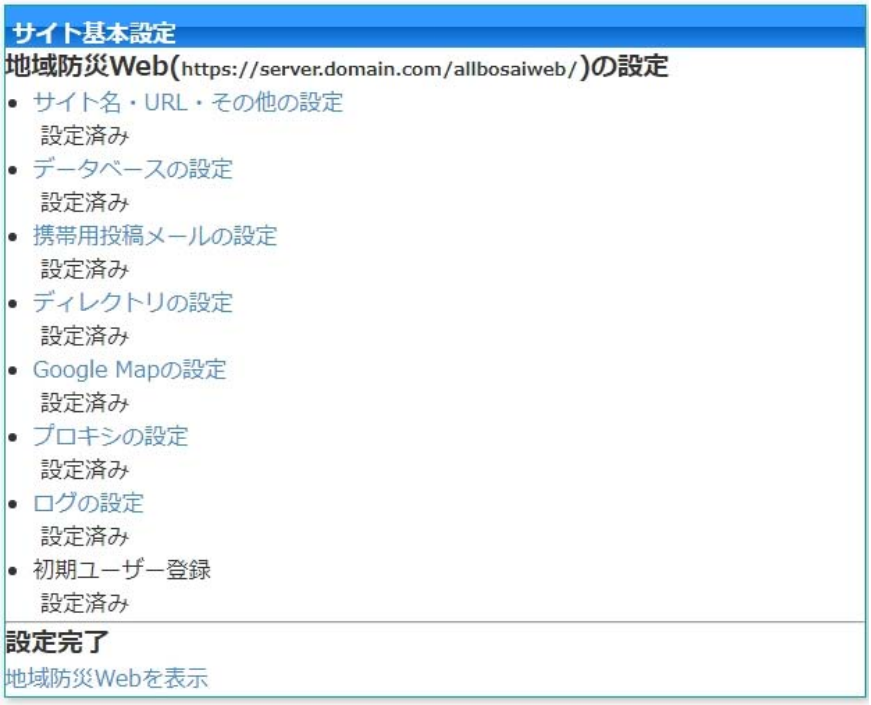
※上記「server.domain.com」の部分は環境に合わせて置き換えてください。



初期設定画面では画面に従い設定値を入力してください。ただし、データベース設定では「3.1 データベース」で作成したデータベースを設定してください。また、コンテンツ等の格納データをリストアしたため初期化を行わないよう注意してください。



全ての設定完了後「地域防災 Web を表示」をクリックすることでトップページが表示されます。



3.4. コンフィグファイル設定

地域防災 Web のトップページが表示されることを確認後、「html/config/********.ini.php」（********は環境により異なります）に Google Maps API と RESAS API の API キー設定を追記します。

```
[conf_api]
google_maps_api_key=”YOUR_GOOGLE_MAPS_API_KEY”
get_resas_api_key=”YOUR_RESAS_API_KEY”
```

※設定値は取得した API キーに置き換えてください。

3.5. ファイル倉庫のリストア

コンテンツに貼り付けられた画像、実践事例の簡易投稿に添付されたファイル等はファイル倉庫に格納されます。「3.1 データベースのリストア」でリストアしたデータに紐づくファイルを復元するには、以下のディレクトリにファイル倉庫のデータ（filebox.zip を回答したもの）を配置します。

```
html/databox/filebox
```

以上